

# 鳥取県中部地震に係る 鳥取県災害対策本部幹事会会議（第7回）

【日時】 11月14日（月）16:00～

【場所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎）

【目標】

被災者に安心と健康を

避難の早期解消

# 1 県の対応状況など

10月21日（金）

14:07（発災同刻） **県災害対策本部設置**

15:05 第1回災害対策本部会議（直近10/25 第7回会議）

16:20～ **災害時緊急支援チーム派遣（倉吉、湯梨浜、北栄）**

19:22 **自衛隊の災害派遣（倉吉市へ給水）**

10月28日（金）

17:00 **自衛隊への撤収要請**

**【災害救助法の適用】** 10/24三朝町を追加適用

◆**県内4市町に災害救助法を適用**

（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町）

◆**適用日 10月21日（4市町とも）**

## 2 物資等の調達・支援

- 被災市町の食事は継続して手配中（倉吉市、北栄町）
- 離乳食（湯梨浜町）の要請 対応済
- ブルーシート、固定用ロープ等の配布・敷設準備  
兵庫県、徳島県、熊本県、県内市町村、中国地方整備局、  
中国知事会、協定業者等から調達。  
県職員災害応援隊が支援中（10/22～）
- 倉吉市ボランティアセンター設置のため電話の臨時設置  
NTTと倉吉市社協で詳細調整済み（10/22）
- 避難所の物資ニーズの把握  
随時対応予定。ストーブほか納品済み。

## 3 り災証明の受付状況 28.11.13現在

鳥取市(10/26～)受付数117件(調査済数81件)

倉吉市(10/23～)

三朝町(10/24～)受付数933件(調査済数929件)

湯梨浜町(10/23～)受付数1,381件(調査済数1,220件、発行数364件)

2次調査受付数52件(調査済数2件)

北栄町(10/24～)受付数1,746件(調査済数1,631件)

琴浦町(10/24～)受付数269件(調査済数249件)

大山町(11/9～)受付数1件

伯耆町(10/22～)受付数7件(振分未済)

合計 受付数4,439件(調査済数4,110件、発行数364件)

2次調査受付数52件(調査済2件)

倉吉市は、住民の届け出により、被災状況調査を実施し、罹災証明願を受付ける方式をとっている。(届出数8,661件(調査済数4,613件))

## 4 目標

被災者に安心と健康を 避難の早期解消

### 1 健やかな避難生活に向けて

- ・エコノミークラス症候群への対応 など

### 2 被災証明書の早期発行

- ・建物被害認定要員の増員配置 など

### 3 住宅政策

- ・公営住宅や借上住宅の提供 など

# 5 他府県等からの受援状況（人的支援）

## 技術職員等の派遣（28.11.14危機管理課まとめ）

区分	期間	応援府県等
被災建築物の 応急危険度判定 10/29業務終了	10/22～10/29	島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、 愛媛県、宮城県等
被災宅地の 応急危険度判定 11/4業務終了	10/22～10/29	徳島県、岡山県、島根県、香川県、高知県等
被災家屋の 被害認定業務	10/25～（継続中）  関西広域連合、中 国地方自治会、四国 地方知事会等様々な スキームによる支援	（倉吉市）滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、 岡山県等 （三朝町）島根県 / 大洗市、多賀町等 （湯梨浜町）徳島県、宮城県、三重県、島根県、広島県、 岡山県、山口県等 （北栄町）徳島県 / 湖南省、港区 / 中国財務局等 11/14-16の間、倉吉市に対して約50班を派遣し、 集中的に支援を実施。以降も11/18まで中四国等が支 援を継続。
保健師	10/24～11/5	島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県等

（注）府県の中には、府県市町村職員を含む。

# 6 各部局の対応状況など

元気づくり総本部

## (元気な鳥取の情報発信)

### 1 イベントやメディアを活用した元気な鳥取発信

#### 【風評被害払拭大作戦】

首都圏・関西圏での観光キャンペーンと連携したPRイベントの実施  
様々なメディアを活用した全国への情報発信  
観光宣伝、宿泊サイトへの広告・情報発信・送客要請活動  
海外からの誘客に向けた情報発信

### 2 災害被災地応援サイトの充実による情報提供

被災者が必要とする情報に合わせ、国内外からの応援メッセージなど被災者を元気づける情報の発信

(白鵬関、石浦関、蓮佛美沙子、イモトアヤコさんほか掲載)

各種支援策を掲載(住宅再建、税の減免等)

観光地や交通機関等、観光地鳥取が元気であることの発信

ふるさと納税、義援金等への協力呼びかけ

## (パンフレット等による支援施策の広報)

- 1 被災者向け、被災事業者向けに各種支援施策を取りまとめたパンフレットを作成し、市町等を通じて配布  
市町の施策を追加した改訂版を発行 (第3版:11/9発行)

【部数】: 1,000部(第1版:10/25発行、第2版:10/31発行)

【配布先】: 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、中部総合事務所、  
金融機関、商工団体

【第2版からの変更点】

- ・市町の支援施策及び連絡先を追加掲載
- ・士業による相談窓口、災害ゴミ相談窓口、外国語対応相談窓口を追加掲載
- ・パンフレットに音声コードを添付し、ユニバーサルデザインに対応(従来はHPの音声読み上げ機能を活用)
- ・配布先に中部の金融機関の各窓口を追加



- 2 避難生活の留意点や相談窓口、り災証明の説明などを掲載したチラシを作成し、各避難所などに掲示及び配布 (随時更新中)

- 3 広報媒体を使った広報(支援施策、ふるさと納税、義援金等)

- ・新聞広告(施策広報)11/6(日)、11/8(火)、11/17(木)日本海新聞、山陰中央新報
- ・県政だより12月号巻頭特集

## (パンフレット等による支援施策の広報)

### 4 鳥取県と8士業が締結した「大規模災害発生時における相談業務の支援に関する協定」に基づく支援

・8士業・・・ 税理士、司法書士、社会保険労務士、中小企業診断士、土地家屋調査士、不動産鑑定士、弁護士、行政書士

- (1) 被災者・被災事業者向けに無料相談を実施
  - ア 相談方法 電話(各団体ごとに連絡先を紹介)
  - イ 相談費用 無料(協定に基づき、相談者の負担はなし)
- (2) 案内チラシを作成済(緊急支援施策パンフレット第3版と同時配布)  
(同パンフレット第3版にも追加)
- (3) 4士業(司法書士、土地家屋調査士、弁護士、行政書士)と国(鳥取行政評価事務所、鳥取地方法務局、鳥取税務署)との「無料合同相談会」を11月24日(木)にエキパル倉吉で開催予定  
開催案内チラシを避難所や各相談窓口等へ配布

# 総務部（応援職員派遣状況）

## 1 専門職の派遣

- ・農業土木 11/15から4名の予定（本庁2、東部2、西部1と中部農林で点検実施）  
土木、建築、保健師の派遣は終了

## 2 罹災証明業務等の行政支援

- ・県職員の動員職員 8名（派遣先 倉吉市：4名、湯梨浜町：3名、三朝町：1名）  
罹災証明の受付・申請書処理、ボランティアセンター運営支援等に従事

## 3 家屋被害認定調査に係る行政支援

### （1）倉吉市（50班体制）

- （内訳）市職員：24名、県職員：36名（調査員15名、他県職員のアテンド 21名）  
他自治体からの応援職員：66名

〔調査員〕

関西広域連合：25名

中国・四国知事会：30名（島根県6、広島県9、山口県7、愛媛県2、香川県4、高知県2）

徳島県：4名、中国財務局：1名

〔調査に係るバックヤード〕中国・四国知事会：6名（岡山県6）

### （2）湯梨浜町（6班体制）

- （内訳）町職員：7名

他自治体からの応援職員：11名（徳島県3、山口県2、三重県4、岩美町1、大山町1）

### （3）三朝町（1班体制）

- （内訳）町職員：1名、他自治体からの応援職員：2名（日南町）

### （4）北栄町（2班体制）

- （内訳）町職員：2名、他自治体からの応援職員：2名（湖南省市）

# 総務部（避難所運営支援状況及びふるさと納税受付体制の状況）

## 4 避難所運営物資（段ボール）の供給

災害時における物資供給に関する協定書に基づき、日段（株）に製造供給を要請。

要請受付	市町名	品目及び数量	納品先	対応状況
10/22(土)	倉吉市	間仕切り用段ボール:2,000枚	倉吉市スポーツセンター体育館	引渡完了
10/25(火)	湯梨浜町	段ボールベッド:50床 間仕切り用段ボール:160枚	湯梨浜町役場本庁舎講堂	引渡完了
10/26(水)	倉吉市	段ボールベッド:100床	倉吉市スポーツセンター体育館	引渡完了
	北栄町	段ボールベッド:30床 間仕切り用段ボール:90枚	北栄町役場大栄庁舎	

## 5 災害支援寄附金の受付

- 10月22日21時から鳥取県への災害支援を目的としたふるさと納税の寄附受付開始。災害支援を目的としたものであることからお礼の品は提供しません。
- 11月14日午後1時現在 622件 3514万円の寄附の申し込みをいただいています。
- 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町においても、民間のふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」で災害復興支援の受付を実施。

# 地域振興部の対応状況

## 1 公共交通関係

- ・航空(国内線、国際線)、鉄道、バス、隠岐汽船はいずれも通常運航中

## 2 文化・体育施設関係 　　いずれも安全確認がされるまで閉館

### (1) 倉吉未来中心

- ・平成28年度10月補正予算(専決処分)により3億8千万円の復旧予算措置
- ・入居者は、本店等での営業、仮事務所設置等で対応中
- ・被害の詳細について11月6日(日)まで調査を実施
- ・11月9日(水)の関係者協議において、小ホールやセミナールームなど一部の年明け供用開始、アトリウム、大ホールなど全館復旧工事は平成29年2月末までの完了を目指すことを確認(県、設計者、施工者、施設管理者)

#### 【被害状況】

- ・アトリウムの吊り天井落下、内壁仕上げ材落下、トラス基礎部分の著しい損傷、大ホール天井一部・舞台機構損傷など

### (2) 倉吉体育文化会館

- ・体育館は12月下旬復旧予定
- ・会議棟は営業中だが、給水管の修繕を実施中

#### 【被害状況】

- ・体育館:天井板が30数枚落下、外回り高窓ガラスが破損・落下、1・2階部で軒天井仕上げ材等破損落下など
- ・会議棟:屋上高架水槽破損により漏水など

## 3 私立中・高、各種学校関係

- ・心のケアの必要な生徒は、月日の経過とともに増加する可能性が高い(兵庫県震災・学校支援チーム(EARTH)からの助言)ため、倉吉北高校、湯梨浜学園へ、地震直後に加え、地震の3ヶ月後にスクールカウンセラーを派遣予定
- ・11月5日(土)西郷児童クラブみらいで鳥大教員・学生が倉吉市の要請を受け、「ものづくり・遊びを通じた心の支援ボランティア活動」を行った。以後、さらに4児童クラブで活動
- ・平成28年度10月補正予算(専決処分)等により順次復旧に着手予定

#### 【被害状況】

- ・校舎の壁の亀裂、天井の脱落、校舎屋根・体育館・防火扉・通路の損壊等

# 地域振興部の対応状況(職員派遣要請への対応状況)

避難所運営、BCP(通常業務の継続)に必要な人員として県内市町村から延べ421人(人日)を派遣 11/13現在  
 罹災証明に係る現地調査業務については、関西広域連合及び中・四国知事会に応援要請。

罹災証明に係る現地調査業務以外(罹災証明窓口業務やBCP(通常業務の継続)に必要な人員等)については、引き続き、市長会・町村会に応援要請。

被災市町からの要請を随時受け付け、速やかに市長会・町村会へ伝達するとともに、調整・決定状況を速やかに被災市町へ伝達。  
 また、それらの状況について、毎日、関係機関と情報共有。

## < 罹災証明に係る現地調査業務以外の要請・対応状況 >

平成28年11月13日時点

団体名	要請状況		対応状況
	要請人数 (1日あたり)	要請内容	
倉吉市	19	罹災証明窓口業務やBCP(通常業務の継続)に必要な人員については、当面、市職員等で対応するが、今後の状況によっては要請を行う可能性あり。 避難所運営業務の応援等について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 避難所運営業務：10/26～10/31(14人)、11/1～11/3(8人)、11/4～11/6(6人) → 県市長会で調整済 11/4 延長要請あり 11/7～11/11(2人～4人) → 県市長会で調整済 農林土木技師と建築技師：10/26～11/8(5人) 11/7 延長要請あり 土木技師～11/11(2人)、建築技師～11/18(2人)	
湯梨浜町	14	BCP(通常業務の継続)に必要な人員について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 罹災証明業務に係る全体調整：可能な日～2週間程度(1人) → 別ルート(危機管理局)で調整済 予防接種、国保、介護、税等：可能な日～2週間程度(7人) → 県町村会で調整済 都市計画関係業務(各種許認可等)：可能な日～1か月程度(2人) → 県町村会で調整中 水道技術者：可能な日～1か月程度(2人) → 済(町で対応) 図書館業務、補助金、出納業務等：11/1～11/14(2人) → 県町村会で調整済	
北栄町	7	BCP(通常業務の継続)に必要な人員について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 教育、水道、国保関係業務：10/26～11/6(3人) → 町村会で調整済 教育、介護、国保、税務、水道等：11/7～11/30(7人) → 町村会で調整済(要請内容の変更に伴い11/7～18、2～4人で派遣決定)	
三朝町	5	罹災証明申請受付事務に必要な人員について要請を受けて対応中。 また、瓦礫置場搬入受付事務について要請を受けて対応中。 【要請業務及び期間】 罹災証明受付申請受付事務 10/27～11/11 瓦礫置場搬入受付事務 10/27～11/11 (合わせて5人) → 町村会で調整済 11/7～11は徳島県町村会からの応援	
4市町計	45		13

「要請人数(1日あたり)」は、現在要請を受けている中で1日あたりの人数が最大となる日の人数を記載  
 上記の他、保健師等の専門職種については、県庁各課が窓口となり派遣要請に対応

# 観光交流局（今後の取組）

平成28年11月14日14時現在

## 今後の取組

今後の観光風評被害払拭のために、引き続き復興観光キャラバン等を実施し、「鳥取県で待っとなります」を国内外に向けて発信するほか、旅行代理店への送客働きかけなど順次実施中。

### 【新しい対策】

- ・団体バスツアーに対する助成(11月8日から開始)  
県内宿泊ツアー 6万円/台、日帰りツアー 3万円/台
- ・旅行会社に対する誘客対策の強化  
関西・山陽方面向け観光情報説明会の開催等

### 【情報発信】

- ・大手宿泊予約サイトを活用した風評被害対策  
楽天トラベル、じゃらん、るるぶトラベルのトップページへのバナー貼り付けやバナー広告などの個人旅行者向けプロモーションの実施。(楽天トラベルトップページバナー(11/14~)、じゃらんトップページバナー(11/15~)など順次実施)
- ・宿泊者によるSNS等による情報発信(11月18日から実施予定)  
「鳥取は大丈夫」「鳥取は楽しかった」とSNSや口コミ等で発信してもらった県内宿泊者に対し、協力宿泊施設にて地元ゆかりの品プレゼント1万人分を配布
- ・その他  
県内周遊対策としてクーポン付施設案内冊子「トリパス」(風評被害対策版)の作成・配布、チラシ等(とっとりで待っとなります)、缶バッジ(とっとりで待っとなります)の作成・配布

### 【復興観光キャラバン等の実施】

- ・サンケイスポーツ訪問(11月14日)
- ・旅行会社訪問(11月14~15日)
- ・関西マスコミキャラバン(11月17~18日)
- ・JR姫路駅での観光・利用促進PR(11月19日)
- ・鳥取県フェア松葉ガニ祭りIN堺(11月19日)等



# 福祉保健部の対応状況

## 1 健康支援対策

### (1) 在宅支援

#### 保健師の支援体制

各市町の保健師が、要支援者の支援を継続中。

医療救護対策支部(福祉保健局)は、後方支援を継続中。

県内外の派遣チームの活動は11/5(土)で終了。

#### 今後も継続して必要な対応

- ・余震や生活再建への不安を訴える者、慢性疾患の病状等心身の健康に対して支援。  
個別に必要なケアを対応中。
- ・感染症、生活不活発病等の予防などを引き続き周知。  
自治体役員や民生委員と連携し、支援を継続中。  
継続訪問並びに支援の必要な者に対して、随時、協力機関につないでいる。

#### その他

- ・乳幼児健診等通常の保健事業を徐々に再開しており、三朝、湯梨浜、北栄、琴浦は通常の業務体制が確保されている。

# 福祉保健部の対応状況

## (2) 避難所支援

### 感染症予防対策の強化

- ・感染性胃腸炎の集団感染が市内3カ所の保育所で発生したことを受け、各市町保健師が巡回避難者の健康状態の確認及びトイレ掃除の強化
- ・11/10夕方～ 感染症対応マニュアルを避難所に配布して対応中

### 各市町村保健師が巡回

- ・精神保健福祉センター原田所長が被災者のこころのケアに適時対応

### 協力機関の支援状況

#### 鳥取県歯科医師会チーム

11/10 上灘小、成徳小、明倫公民館、倉吉市高齢者生活福祉センター、北条健康福祉センターの避難所で長期化する避難者への口腔ケア実施(2チーム・6名)  
JRAT 生活不活発、リハ、軽運動等の指導(延べ11名の理学・作業療法士等)10/31一端、終了

11/09に倉吉市の避難所・4カ所を再度巡回

- ・上灘小は段ボールベッドを100%使用
- ・倉吉市高齢者生活福祉センターの環境は良好
- ・成徳小はトイレへの通路等の段差、暖房の充実等を助言

鳥取県看護協会災害支援ナース 倉吉市、北栄町の避難所で活動中(24時間体制)

11/12(土)午前8時で派遣終了

## (3) 市町災害対応職員等を対象にメンタルヘルス相談会開催

11/21 市町村職員(希望者)を対象・メンタルヘルス相談会を開催予定

- ・13:30-16:00、於:中部福祉保健局、内容:精神保健センター原田所長による面談等
- ・対象:市町職員のうち希望者、職員健康管理及び勤務体制担当者のうち希望者

# 福祉保健部の対応状況

## 2 「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」の募集中

受付期間 平成28年10月25日(火)から平成28年11月25日(金)まで 延長手続中

実施方法

- (1) 募金箱の設置 鳥取県共同募金会、NHK鳥取放送局、県庁(県民課)、各総合事務所地域振興局、  
県立図書館、県立博物館、県外本部等  
山陰合同銀行、鳥取銀行の各店舗窓口に募金箱を11/14(月)から設置(一部店舗は15~)
- (2) 口座振込み 日本赤十字社、共同募金会、鳥取県の各指定口座
- (3) 現金書留による送金 鳥取県共同募金会あての現金書留は手数料無料

### 【災害ボランティアセンター設置・活動状況】

市町	開設場所	ボランティア活動人数・活動内容(11/14(月)11:00時点)
倉吉市	上灘公民館 11/15から移転 移転先:まちかどステーション	11/14移転作業のため休所
三朝町	三朝町社協	0名
県社協	鳥取県社協	災害救援ボランティアセンター支援本部の運営 活動内容:市町の災害ボランティアセンターの支援 倉吉市:2名、三朝町:0名派遣

湯梨浜町災害ボランティアセンターは11月4日(金)で閉鎖し、今後は湯梨浜町社協で平日のみボランティア・困りごと相談を受付  
北栄町災害ボランティアセンターは11月11日(金)で閉鎖し、今後は北栄町社協で平日のみボランティア・困りごと相談を受付

# 生活環境部の対応 1

第6回幹事会以降の変更箇所を下線。

<p>上・下水道</p>	<p>&lt; 上水 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倉吉市: 復旧作業により、管路等の破損箇所は全面復旧し断水解消。 配水塔(生竹地区)倒壊の危険があり、3世帯(11人)避難中。 配水塔は、解体を行う。</li> <li>・ 各 町: 断水は解消。</li> </ul> <p>&lt; 下水 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道被災箇所が徐々に判明し、カメラによる管渠調査等を実施中。</li> <li>・ 県浄化槽協会との協定により、浄化槽の点検を実施中。</li> </ul>
<p>災害廃棄物の仮集積場</p>	<p>倉吉市: 1カ所。22日14時から受け入れ開始。(10/24からは9～17時受入れ)</p> <p>三朝町: 1カ所。23日8時30分から受け入れ開始(8時30分～17時受入れ) 11/13閉鎖</p> <p>湯梨浜: 2カ所。22日13時から受け入れ開始(9～17時受入れ) <u>泊は11/3に閉鎖、羽合は11/17、東郷は11/20閉鎖予定</u></p> <p>北栄町: 2カ所。22日15時から受け入れ開始(9～17時受入れ) <u>大栄は11/13に閉鎖、北条は11/20閉鎖予定</u></p> <p>琴浦町: 1カ所。24日10時から受け入れ開始。(10～15時受入れ) 10/30閉鎖</p> <p>墓石の処理については、個人処理とするよう調整。</p> <p>県、市町村、事業者で協議(10/27)に基づき、量の多い倉吉市、北栄町でも搬出作業を開始 ほうきりサイクルセンター焼却炉2号炉について、焼却炉内部の耐火レンガ等が落下し運転が不可能 修繕に12月一杯かかるみこみ。現状は1号炉が問題無く運転中であり、処理はできている。</p>
<p>避難所宿泊者の温泉旅館でのおもてなし</p>	<p>避難生活で疲労の蓄積している避難所宿泊者を県旅館ホテル生活衛生同業組合の協力により温泉旅館・ホテル(はわい温泉・東郷温泉・三朝温泉・関金温泉)でおもてなしすることとした。 11月2日に各避難所へ利用券を配布し、11月4日から利用可能。</p>
<p>悪質商法への注意喚起など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の被災地応援サイトに情報掲載。</li> <li>・ 被災者向けチラシを作成し、配布を手配済み。</li> <li>・ 被災した中部消費生活センターは、10月28日から倉吉交流プラザ相談業務を再開。</li> </ul>

# 生活環境部 2

<p>り災証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県建築士事務所協会、県内市町村に業務経験者の派遣を要請中。</li> <li>・ 全国自治体へ住家被害認定調査員の応援要請済み【危機管理局対応】              一次判定を3週間程度で終わられることを目標に、11月4日から応援職員による調査実施</li> <li>・ 11月1日開催の中部地震にかかる住宅対策会議で簡易版の調査票を用いて家屋の調査を行い、スピーディーに進めることを市町と調整。</li> </ul>
<p>被災者住宅支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災した住居の修繕支援について、24日に被災者住宅再建支援制度運営協議会で一部損壊を対象とすることを確認。</li> <li>・ 25日の知事専決補正予算により鳥取県被災者住宅総合支援事業を実施。              被災者住宅支援補助金              助成額:30万～300万円 対象:全壊、半壊、一部損壊(損害基準判定10%以上の世帯)              被災者住宅修繕支援金              助成額:5万円(但し、4%以下の軽微な損壊は、段階的に1万円まで支援額を引き下げ)              対象:一部損壊(損害基準判定10%未満の世帯)</li> <li>・ 支援金交付要綱及び申請様式を市町村へ配布済み、<u>10月31日</u>、<u>11月9日</u>に市町村説明会を開催。</li> </ul>
<p>住宅の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倉吉市建築住宅課と連携して避難所を訪問し、避難者の住宅状況の確認、県の住宅支援の概要紹介等を実施。(11月11日(金))</li> <li>・ 「居住していた持ち家が全壊・大規模半壊・半壊であって解体することを余儀なくされた」「居住していた民間賃貸住宅の貸主が修繕を断念する等賃貸借契約が解除された」等の場合に、入居可能な県営住宅等60戸(鳥取市内11、倉吉市内40、米子市内9)を確保。10月26日から入居希望受付。</li> <li>・ 11月4日申込〆切、62件受付。応募者が重複していない住戸14戸については、11月7日までに鍵を引き渡し。重複している住戸について11月9日に入居抽選会を実施、倉吉市内の<u>38戸</u>が決定し、同日鍵を引き渡し。</li> <li>・ 2次募集<u>35戸</u>(県営住宅<u>27</u>(1次分の再募集<u>22</u>含む)、国職員宿舍<u>8</u>。(内 倉吉市内<u>15</u>))の<u>受付を開始</u>。  <u>(募集期間:11月14日(月)～11月18日(金))</u></li> <li>・ 中部地区の雇用促進住宅(3団地)の活用及び見なし仮設住宅についても検討中。</li> <li>・ 中部地区で約180戸、県全体では約230戸を確保の見通し。</li> </ul>
<p>建物修繕相談窓口</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部総合事務所2号館(2階)に『被災建物修繕等総合相談窓口』開設。9～17時まで。</li> <li>・ 業界団体を通じた住宅修繕相談のフローについて広報。</li> </ul>

# 商工労働部(被害状況等)

## 県内企業の被害状況の概況

11/10 17時以降の新たな情報を下線で記載

県内の主要製造業（主要製造業約50社を調査）

- 現時点では、聞き取りを行った約50社のうち9割以上が操業を再開。
- ただし、事業所や設備が被災している企業もある。

県内の中小・小規模事業者

商工団体が中小小規模事業者の被災状況を調査中。

< 倉吉市・湯梨浜町・北栄町・三朝町・琴浦町 >

- ・ 中部地区の商工団体会員企業約2,400社のうち、約1,000社の被災調査を実施。

建物被害、機械設備被害、商品・製品被害、営業被害など、複数の被害状況を調査

・ 倉吉商工会議所管内 : 650社

・ 各町商工会管内 : 400社

- ・ 約160社が復旧に係る個別サポートを希望。

希望するサポートの内容は、

・ 資金対応(融資・補助金)

・ 復旧後の経営サポート(販路等含めた経営相談)

順次、サポートの緊急度・優先度を確認し、ニーズの詳細確認へ移行中。

# 商工労働部(今後の取組)

## 支援状況

「震災対策企業支援ネットワーク」による一体的支援  
(11/1～・毎週木曜日・倉吉商工会議所)

■ 11/10 = 第2回の支援会議を倉吉商工会議所で開催

(メンバー) 商工団体・金融機関・保証協会・産業支援機関・国(経産局・労働局)・県

(役割) ・各機関連携によるワンストップ支援(施策情報の共有、企業相談への合同対応)

- ・復旧後の経営の安定・回復を目指した県の補助制度の活用(商圈拡大、県版経営革新補助など)
- ・売上減少等に伴う一時休業等の雇用対策への対応 等

既存予算活用及び適時の予算措置により切れ目ない支援を展開

## 専決予算

「がんばる企業を応援！特別金融支援事業」

- (1) 災害等緊急資金「鳥取県中部地震対応枠」の増枠 (10億円 50億円)
- (2) 復興支援利子補給制度の新設 (5年間無利子化)
- (3) 復興支援保証料軽減補助制度の新設 (5年間無保証料)

## 既存予算

鳥取県版経営革新総合支援事業(復旧・復興型)

「復旧・復興型」を設け、本日から受付を開始。

## 11月補正

予定

商圈拡大・需要獲得支援事業 の増枠

地震を機に、風評被害の払しょくや商圈拡大を図る中小企業の調査・検討支援を増額

鳥取県版経営革新総合支援事業 の増枠 (復旧・復興枠)

既存予算で対応する「復旧・復興型」の増額

# 農林水産部の対応

## 1. 被害施設の速やかな復旧支援

- JA選果場等の共同利用施設について、国事業を活用しながら、速やかな復旧を支援(被害規模約5億円[判明分])

施設区分	主な施設名	主な被害内容	被害額(概算)
選果場、集荷場、ライスセンター、カンリ-エレベーター	梨(倉吉、東郷)、西瓜(大栄)、米(秋喜、北条)	建物破損(壁・ガラス割れ、基礎)、機械破損	468,000千円
漁業施設	赤碕町漁協・県漁協荷さばき所	外壁一部崩落	1,100千円
大山乳業農業協同組合	粉乳工場	建物・工場基礎の破損	28,000千円

## 2. 梨の販売促進

- 中部全域で落果被害(被害額:6,272万円)。落果梨は販促キャンペーン(10/27-28)や県外自治体等で販売
- 落果しなかった梨については、都内高級販売店等での高値販売に向けて調整

## 3. ため池、農地、農業用施設の災害復旧

- 被災箇所の確認作業を進めており(現段階で被害箇所:506箇所、被害額:約6億1千万円)、国・県事業を使いながら速やかな復旧を支援する

区分	主な被害場所	主な被害内容	被害額(判明分)
農地	湯梨浜町(長瀬)、三朝町(鎌田)等 136箇所	芝畑の液状化、水田・畑法面の崩壊	147,790千円
ため池	倉吉市(池ノ谷)、琴浦町(松谷第1)等 17箇所	天端クラック、連絡道の路肩崩壊、崖の崩壊	85,000千円
農道	倉吉市(大平農免)、北栄町(北条西農免)等 193箇所	路面クラック、法面崩壊	189,010千円
水路	倉吉市(四王寺)、北栄町(北条砂丘)等 145箇所	水路法面崩壊、水路壁クラック、パイプライン漏水	148,466千円
集落排水	倉吉市、湯梨浜町等 14箇所	施設の地盤沈下、施設の破損	41,135千円

## 4. 食糧の調達

- スーパーマーケット、コンビニ等からの手配により十分な食糧を調達(10月30日からカップ付きスープ類を提供)

日付	要請元(食数)	手配状況
11月14-16日	倉吉市(14-15日:35食、16日:30食)、北栄町(14-15日:20食、16日:10食)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達

## 5. 農林水産関連施設関係

- 鳥取二十世紀梨記念館:11月9日(水)の倉吉未来中心の復旧工事に向けた関係者協議において、12月中旬の供用開始を目指すことを確認(県、設計者、施工者、施設管理者)。

# 農林水産部の対応

## 6. 復興に係る食のイベント・PR

- 鳥取県中部地震に伴う風評被害を払拭し、鳥取の食の魅力を活かした県外からの観光客誘致を推進するため、「美味しいものとっとります！とっとりで待っとります！食のみやこ鳥取県」のPOPを作成し、県外のイベント等で配布。



- 「鳥取かにフェスタ2016」「とっとり肉肉カーニバル2016」の開催に併せ、県中部の農林水産物を試食販売するなど、各種イベント等において、県内の農林水産業が一体となって食の魅力をPR。

日付	イベント名	場所	内容
11月12日(土) 13日(日)	鳥取は元気です！買って 食べて応援！中部の農産物	マリンピア賀露	「鳥取かにフェスタ2016」(11/12)「とっとり肉肉カーニバル2016」(11/12-13)の開催に併せ、王秋梨などの県中部の農林水産物を試食販売
11月12日(土)	松葉がに・親がに解禁！ PRイベント	とっとり・おかやま 新橋館(東京都)	鳥取県中部にある倉吉農業高等学校の生徒4名とともに、知事が松葉がに解禁にかかるトッププロモーションを実施
11月15日(火) ~	「合格まちがい梨」の販売	京橋千疋屋、日本橋 三越(東京都)	鳥取県中部地震で落ちなかった梨(王秋)を、三徳山投入堂のお守り、開運八社巡りの手ぬぐいなどとともに、3,939円(さくらさく)で販売
11月15日(火) ~29日(火)	鳥取県産食材レストランフェア	銀座・新橋周辺の レストラン10店舗 (東京都)	鳥取和牛を使用して、日本料理、イタリアン、フレンチの10店舗でレストランフェアを開催。引き続き、11月下旬には関西の3店舗、来年1月には名古屋の3店舗にてレストランフェアを開催 各店舗にて、とっとりでまっとりますチラシや観光パンフの配架を調整中
11月25日(金) ~26日(土)	秋田・鳥取 海の幸フェア ハタハタフェスティバル	築地魚河岸 (東京都)	「美味しいものとっとります!! 食のみやこ鳥取県応援ブース」を設置し、県中部の 産品を販売

# 県土整備部の対応

## 1. 県土整備部所管にかかる被害、点検状況 11/14 13時時点( \_\_は11/10 13時時点からの追加部分)

### 公共土木施設被害状況

道路【通行止】県管理 全面0路線、片交1路線

片交:鳥取鹿野倉吉線(三朝町大瀬~倉吉市大原) 事業着手による片交解除に向け地元調整中

【被害箇所】【県管理】道路57箇所【市町村等管理】道路43箇所

河川【被害箇所】【県管理】10箇所【市町村等管理】1箇所

海岸保全施設【被害箇所】1箇所

ダム【被害箇所】0箇所

港湾【被害箇所】1箇所

治山【被害箇所】1箇所

下水道【被害箇所】【県管理】1箇所【市町村等管理】7箇所

公園【被害箇所】【県管理】0箇所【市町村等管理】10箇所

その他施設(砂防設備ほか)【被害箇所】0箇所

公共土木施設被害額(国交省+農水省林野庁所管分) 132箇所 2,662,250千円

被害箇所は災害査定等に向けて作業中  
・査定日12/12の週に決定  
・机上査定額1,500万円未満に引上げ  
(通常300万円)  
・災害査定の迅速かつ円滑な実施に国交省が配慮  
・各市町の査定準備状況聞取実施中

## 2. 被災宅地危険度判定派遣

10/21~29日までに予定エリアの判定完了。追加判定要請を受けた箇所も11/4までに判定終了。

全判定件数4,898件(青(調査済)4,281件、黄(要注意)389件、赤(危険)228件)

## 3. 支援状況

屋根のブルーシート張りの人員について、県建設業協会に支援を要請し、予定箇所については11/8までに完了。追加要請については引き続き市町で対応(10/22~11/8までにのべ340社1,213人が活動)。

## 4. その他

現時点でも開催できる行事は開催し、他県からの来場者に「元気な鳥取県」をPR

11/8 中国治水大会(於:鳥取市 国交省、中国各県・市町村等 参加者約200名)

11/11 基幹統計調査「港湾調査」に関する会議(於:米子市 国交省、近畿・中国・四国各県・市町村 参加者約80名)

11/17~18 リサイクルポート4港合同勉強会(於:境港市 秋田、山形、新潟県港湾関係者 参加者約40名)

11/24 中国地方河川管理担当者会議(於:鳥取市 国交省、中国各県) 等

# 教育委員会（学校等の状況）

11/14 13:00時点 下線部が主な変更箇所

## 1 授業の実施【県立学校（全32校）及び公立小中特別支援学校（全187校）】

通常どおり実施 地震の影響により欠席している児童生徒はなし。

## 2 スクールカウンセラーの活動

スクールカウンセラーを中部地区の全校に派遣。心のケアが必要な児童生徒に対してカウンセリングを実施中。（カウンセリングは長期的な対応が必要であることから今後も継続的に対応）

## 3 学校施設・給食センター等への対応状況

施設の復旧等について、県教育委員会も各市町教育委員会の支援を実施

<倉吉市の学校給食>

11/1 ~ 弁当持参

11/14 ~ 中部4町の給食センターの協力により、汁物を提供する。（中部4町の給食センターから各校に曜日を決めて週1回汁物を提供できるよう支援）

その他、民間や他県による昼食支援等を組合わせて対応

## 4 教職員への心のケア

教職員の心身の疲労等に対して、ストレスチェック制度やメンタルヘルス事業（公立学校共済組合）等の活用を呼びかけるほか、県教育委員会に配置している「心の健康相談員」を派遣し、教職員の心のケアに対応していく。

# 鳥取県中部地震の概況

**発生日時： 10月21日 14時07分**

**震源： 鳥取県中部（N35度22.8分、E133度51.3分）**

**マグニチュード： 6.6（暫定値）**

**震源の深さ： 11km（暫定値）**

【各地の震度（鳥取県関係）】

**震度 6 弱 倉吉市、湯梨浜町、北栄町**

**震度 5 強 鳥取市、三朝町**

**震度 5 弱 琴浦町、日吉津村**

**この地震による津波の心配なし**